

## 中学校完全給食の実施を求める請願

### 【請願の趣旨】

私たちは、子どもの健全な成長発達を願い、中学校給食実現を要望している市民団体です。2014年には「中学校でも完全給食を実施してください」「全国的に評判の悪いデリバリー方式の給食は行わないでください」の2点で30,950筆の署名を集め、横須賀市議会に請願しました。今年2月に行った給食フェスタには412人が来場し、要求と関心の高さを実感しているところです。

昨年教育委員会で行ったアンケート結果からは「中学校完全給食」への要望が高いことと共に、毎日昼食を摂ることができない中学生が0.8%もいることが分かりました。全国に比べて、横須賀の子どもの貧困率が高いことや朝食の喫食率が低いことは、既にご存知かと思えます。このアンケート結果を受け、横須賀市長は「中学校における完全給食の実現に向けた検討をスタートしなければならない時期であると感じている」との施政方針を述べました。

給食は「学校給食法」に基づいて、教育の一環として実施されるものです。温かい給食は、塩分・油分控え目な食事の提供が可能であり、成長期に必要な栄養をバランスよく摂ることができます。そしてそのような食事を摂ることが習慣となり、将来にわたって健康な食を選び取る力を養うことにもなります。また、配膳の手間と時間をかけることで食の大切さや協力することを学びます。生産者や栄養士、調理員などと顔の見える関係を作り、感謝の気持ちを育てます。

さらに、全員同じものを食することで昼食における格差が解消します。日ごろ競争を強いられている子どもたちが唯一平等になれる時間となるのです。評価に直接関わらない大人との関係を通し、給食の効果は人格形成にも及ぶものと考えます。

以上の観点から、私たちは今の小学校同様の自校方式での実現を望みます。

施設、予算、カリキュラムの面など課題はあるかと思いますが、まずはより良い方法・自校方式で実現できるよう、ご検討ください。

### 【請願内容】

1. 中学校でも完全給食を実施してください。
2. 完全給食実施にあたっては、原則全員喫食の自校方式を最優先に検討してください。

2016年4月11日

教育委員長 荒川由美子 様

